

○ 「滋賀県環境こだわり農業推進基本計画」等をベースに、**化学肥料・化学農薬の使用低減**や琵琶湖の保全などに対応した**生産性の高い環境こだわり農業**を推進するとともに、オーガニック農業の本格的な作付けの拡大、環境こだわり農業の強みを生かした流通・販売の強化、消費者の理解促進等を図る。

【作成主体】 滋賀県及び県内全19市町

滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

【計画の主な目標】

- ・オーガニック栽培など化学合成農薬・化学肥料を大幅に削減して栽培する作付けを推進する
水稲新品種「きらみずき」の作付面積：1,000ha（R8）
- ・化学肥料出荷量の削減率：10%削減（R8）
- ・化学合成農薬出荷量の削減率：5%削減（R8）
- ・オーガニック農業取組面積：500ha（R8）

等

【取組のポイント】

- ・スマート農業技術の導入、県が作成した「水田土づくりマニュアル」等を活用した土づくりの推進、長期中干しや秋耕の普及、水稲・茶におけるオーガニック農業拡大等の取組を通じて、生産性の高い環境こだわり農業を推進
- ・環境こだわり農業の強みを生かした流通・販売面の取組強化や消費者の理解促進を図るため、ブランド力の向上や有利販売につながる流通・販売対策の強化、学校給食等を通じた食育を推進



オーガニック農業の推進に向け期待される新品種「きらみずき」と育種担当職員



水稲、茶の有機栽培の栽培技術の体系化



食品事業者等と連携した理解促進・消費拡大